

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2010年5月31日（当初設定日）から2024年1月15日までです。	
運用方針	MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）
運用方法	①マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。 ②マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）に投資します。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および市場動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

ピクテ・インデックス・
ファンド・シリーズ
ブラジル株
愛称：ピクテIFブラジル株

償還運用報告書(全体版)

第28期

償還日：2024年1月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「ピクテ・インデックス・ファンド・シリーズブラジル株」は、2024年1月15日に償還となりました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。
償還までのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	純資産額
		税金	み	期中	騰	中		
	円	分	金	騰	騰	率		
	円	配	騰	落	落	%	%	百万円
24期(2022年1月25日)	6,194	0		△14.9	7,207	△14.7	98.5	527
25期(2022年7月25日)	6,889	0		11.2	8,002	11.0	97.2	466
26期(2023年1月25日)	8,049	0		16.8	9,410	17.6	97.3	523
27期(2023年7月25日)	10,061	0		25.0	11,865	26.1	97.2	638
(償還時)	(償還価額)							
28期(2024年1月15日)	10,470.69	—		4.1	12,897	8.7	—	528

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したもので、指数化して表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率
		騰	落	騰	落	
	円	騰	率	騰	率	%
	銭		%		%	%
(期首) 2023年7月25日	10,061	—		11,865	—	97.2
7月末	9,913	△1.5		11,690	△1.5	97.7
8月末	9,772	△2.9		11,528	△2.8	96.8
9月末	9,620	△4.4		11,356	△4.3	96.7
10月末	9,322	△7.3		11,011	△7.2	97.1
11月末	10,501	4.4		12,385	4.4	0.0
12月末	10,493	4.3		12,851	8.3	—
(償還時)	(償還価額)					
2024年1月15日	10,470.69	4.1		12,897	8.7	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したもので、指数化して表示しています。

MSCIブラジル株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、4.1%の上昇となりました。



期 首：10,061円

期末(償還日)：10,470円69銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： 4.1%

(注) ベンチマークは、期首(2023年7月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したものです。

◇主な変動要因

上昇↑・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと

上昇↑・円に対してブラジルレアルが上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期のベンチマークの騰落率は8.7%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は4.6%でした。マザーファンドにおいて償還に向けて組入れ株式を売却し現金としたことが主な差異要因となりました。

投資環境

- ・ ブラジル株式市場は、期首から2023年10月にかけては、軟調な中国景気状況や、良好な米経済指標などを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による高金利政策が長期化するとの見方が強まり、米金利が上昇したことなどから下落しました。11月から償還日にかけては、米インフレ圧力の低下などからFRBの利上げ終了や早期利下げ開始観測が広がり、米国長期金利の低下や米ドル安が進行したこと、ブラジル国内のインフレ見通しが改善するなか、ブラジル中央銀行の利下げを背景とした景気刺激期待などから、ブラジル株式市場は上昇しました。
- ・ 為替市場は、ブラジルレアルは、期首から2023年10月にかけては、ブラジル金融政策決定会合において市場予想を上回る利下げが実施されたことや、世界的に株式市場が下落するなか投資家のリスク回避姿勢が高まったことからブラジルレアル安が進行する場面もありましたが、その後米長期金利の上昇に一服感がみられたことや、鉄鉱石などの資源価格の堅調な推移を背景に概ね横ばい程度の推移となりました。11月前半にかけては、FRBによる追加利上げ懸念が後退した一方、ブラジル中央銀行の金融政策委員会議事録において、引き続きインフレ抑制に向けた取り組みが続く可能性が示唆されたことから、ブラジルレアル高が進行しました。その後2023年末にかけては、日本銀行の金融緩和政策修正観測などから円高・ブラジルレアル安となりました。2024年をはじめから償還日にかけては、年初に日本で発生した大地震や引き続き前年比マイナスで推移する日本の実質賃金などを背景に、日本銀行の早期的な政策修正観測が後退したことなどから、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。

なお、償還日現在においては有価証券の組入れはございません。

<ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド>

ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。

なお、償還日現在においては有価証券の組入れはございません。

基準価額等の推移

設定以来の基準価額は、4.7%の上昇となりました。



◇主な変動要因

上昇↑・実質的に組入れている株式の価格（配当込み）が上昇したこと

下落↓・円に対してブラジルリアルが下落したこと

◇ベンチマークとの比較

基準価額は4.7%の上昇となり、ベンチマークの上昇率29.0%を下回りました。

【主な差異要因】

運用管理費用（信託報酬）等が主な差異要因となりました。また、マザーファンドにおいて償還に向けて組入れ株式を売却し現金としたことも差異要因となりました。

- ・ブラジル株式市場は、当初設定日の2010年5月末から11月上旬までは、上昇となりましたが、その後はインフレ懸念の高まりなどから政策金利の引き上げが続いていることや米国景気の減速懸念などを背景に2011年8月上旬まで下落となりました。その後、2012年3月上旬まではブラジル中央銀行（BCB）が金融緩和を加速させたことや、米ISM製造業景況指数、中国製造業購買担当者景気指数（PMI）の改善などを受けて上昇しましたが、3月中旬以降はブラジルの実質国内総生産（GDP）成長率の鈍化や鉱工業生産の減速に加え、欧州債務危機の再燃や中国の景気減速懸念などにより反落となりました。その後も反発する局面もありましたが、経済指標の悪化、実質GDP成長率が市場予想を下回ったことに加えて、商品市況の低迷が続いていることなどを背景に上値の重い展開が続き、2016年1月までは軟調な展開となりました。2月以降は好調な商品市況、中国で財政政策への期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾プロセスの進展が好感されたことや、欧州中央銀行（ECB）による追加金融緩和期待、米連邦公開市場委員会（FOMC）において利上げペースの後退が示唆されたことに加えて、テメル新政権の政策運営に対する期待の高まりやBCBによる利下げ、GDP成長率が市場予想を上回ったことなどをを受けて上昇に転じ、2020年1月までは、一時軟調な展開となる局面もありましたが、BCBが追加金融緩和の可能性を示唆したことや堅調な商品市場、また新大統領に就任したボルソナロ大統領による年金、財政改革などへの期待、米中首脳会談で両国間の貿易交渉の再開が決定され世界的に株高となったことや、GDPが市場予想を上回ったことなどを背景に上昇基調が続きました。その後3月にかけては新型コロナウイルス感染の拡大により世界的な景気減速懸念が高まったことに加えて、ブラジル国内でもサンパウロ州などで封鎖措置が実施され経済活動の停滞への懸念が強く意識されたこと、また原油価格の急落などにより急落しましたが、欧米などで経済活動再開への動きが続くなか、5月や6月の米雇用統計が市場予想を上回る伸びを記録したことや新型コロナウイルスワクチンの開発報道などを背景に投資家心理が改善したこと、その後米大統領選挙でバイデン氏が勝利し同国の政治的不透明感が後退したことや新型コロナウイルスワクチンの開発期待が高まったことなどをを受けて上昇に転じ、2021年6月までは中国の景気回復期待や資源価格の上昇、FRBが金融緩和政策の継続姿勢を鮮明にしたことなどを背景に上昇基調となりました。11月まではBCBが利上げに積極的な姿勢を示したこと、鉄鉱石などの資源価格の下落、世界経済の回復ペース鈍化懸念や原油価格の低下に加え、中国の景気減速への懸念や、ブラジル国内の干ばつによりインフレ高進に対する懸念が高まったことなどをを受けて下落に転じ、その後はほぼボックス圏での推移となりました。（当期の投資環境については前記をご覧ください。）
- ・為替市場では、当初設定日の2010年5月末以降、ブラジルレアルは円に対して軟調な推移が続きました。2011年10月上旬にかけてはBCBによる利下げや世界的な資金逃避の動きなどをを受けてレアル安が進みました。2012年12月から2013年4月にかけては、日本で金融緩和を強く支持する安倍政権が誕生したこと、ブラジル政府が金融取引税（IOF税）の課税適用範囲を縮小したことや通貨当局がレアル買い介入を実施したことなどを背景にレアル高となる局面もありましたが長続きはしませんでした。2015年2月から2016年2月にかけては、通貨当局が自国通貨安を容認する姿勢を示したことや、経済指標の悪化が続いていたこと、米格付け会社が信用格付けを投機的等級に下げたことに加えて、ルセフ大統領に対する贈賄嫌疑を受けた政治的混乱、財政再建の要だったレビ財務相の辞任などにより、レアル安が進みました。その後、堅調な展開となる局面もありましたが、2017年3月から2020年5月にかけては、BCBによる大幅な利下げの継続、テメル大統領の汚職疑惑やブラジル大統領選挙をはじめとした政治的な不安定さ、米国金利の先高感による新興国通貨からの資金逃避懸念や原油、鉄鉱石価格などの下落、また米中貿易戦争の激化懸念や中南米諸国の政情不安などに加え、2020年に入ると新型コロナウイルス感染拡大の懸念、軟調な経済指標、政治リスクの高まりなどを背景に再びレアル安基調が続きました。2022年1月以降は商品価格の上昇や投資家による過度なリスク回避姿勢の後退、日本銀行が緩和的な金融政策を維持した一方でBCBは利上げを継続したこと、ブラジル大統領選においてルラ氏が選出され政治的混乱に対する不透明感が後退したことなどをを受けてレアル高基調に転じました。（当期の投資環境については前記をご覧ください。）

組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。

なお、償還日現在においては有価証券の組入れはございません。

<ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド>

ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、MSCI ブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。

なお、償還日現在においては有価証券の組入れはございません。

収益分配金

収益分配は、利子・配当等収益の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 7 月26日～2024年 1 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 46	% 0.460	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(27)	(0.267)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(17)	(0.173)	
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.021)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(3)	(0.027)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.033	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(3)	(0.033)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	26	0.260	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(26)	(0.258)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	
合 計	78	0.780	
期中の平均基準価額は、9,936円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

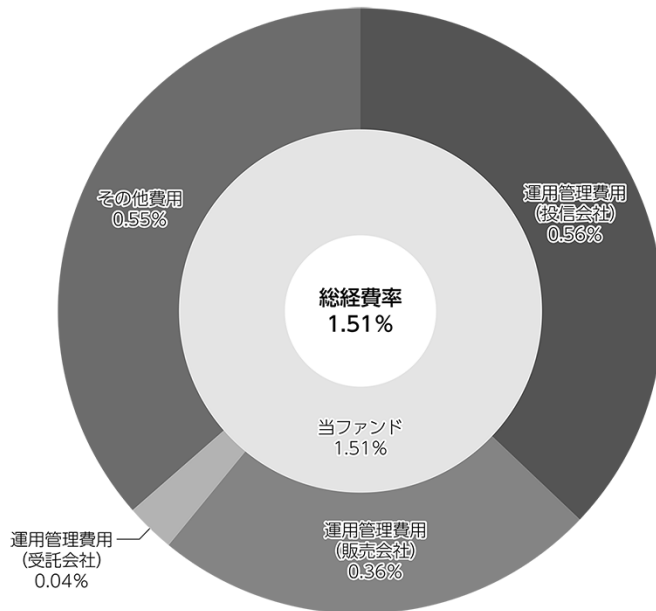
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月26日～2024年1月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド	千口 7,627	千円 8,490	千口 565,833	千円 666,945

(注) 単位未満は切り捨てています。

○株式売買比率

(2023年7月26日～2024年1月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	638,884千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	457,733千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月26日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年7月26日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○特定資産の価格等の調査

(2023年7月26日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口	数
ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド			千口 558,205

(注) 単位未満は切り捨てています。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 530,972	% 100.0
投資信託財産総額	530,972	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年1月15日現在)

項目	償還時
(A) 資産	円 530,972,597
コール・ローン等	530,972,597
(B) 負債	2,685,794
未払信託報酬	2,684,280
未払利息	1,454
その他未払費用	60
(C) 純資産総額(A-B)	528,286,803
元本	504,538,765
償還差益金	23,748,038
(D) 受益権総口数	504,538,765口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,470,699銭

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額	634,767,394円
期中追加設定元本額	39,747,410円
期中一部解約元本額	169,976,039円
(注) 1口当たり純資産額	1.047069円

○損益の状況

(2023年7月26日～2024年1月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 △ 2,602
支払利息	△ 2,602
(B) 有価証券売買損益	23,208,274
売買益	29,290,809
売買損	△ 6,082,535
(C) 信託報酬等	△ 2,685,139
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,520,533
(E) 前期繰越損益金	125,456,073
(F) 追加信託差損益金	△122,228,568
(配当等相当額)	(267,190,515)
(売買損益相当額)	(△389,419,083)
償還差益金(D+E+F)	23,748,038

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用は、ファンドに係る信託報酬のうち委託者が受ける報酬から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年5月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年1月15日		資産総額	530,972,597円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,685,794円
				純資産総額	528,286,803円
受益権口数	931,054,318口	504,538,765口	△426,515,553口	受益権口数	504,538,765口
元本額	931,054,318円	504,538,765円	△426,515,553円	1万口当たり償還金	10,470円69銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,019,897,396円	1,040,603,149円	10,203円	0円	0%
第2期	1,091,269,389	1,157,326,854	10,605	0	0
第3期	955,124,510	898,069,640	9,403	0	0
第4期	882,131,454	745,103,850	8,447	0	0
第5期	957,263,319	585,764,862	6,119	0	0
第6期	1,081,058,250	893,353,083	8,264	0	0
第7期	1,161,340,964	756,288,612	6,512	0	0
第8期	1,157,361,575	700,754,260	6,055	0	0
第9期	1,091,573,167	853,154,794	7,816	0	0
第10期	1,024,399,850	666,587,364	6,507	0	0
第11期	1,174,751,109	620,790,075	5,284	0	0
第12期	1,392,677,818	445,855,831	3,201	0	0
第13期	1,328,276,723	704,601,441	5,305	0	0
第14期	1,229,301,014	817,266,372	6,648	0	0
第15期	1,198,028,169	776,178,266	6,479	0	0
第16期	883,541,386	716,854,666	8,113	0	0
第17期	918,466,180	599,957,110	6,532	0	0
第18期	852,906,701	669,392,983	7,848	0	0
第19期	793,852,992	649,119,098	8,177	0	0
第20期	683,623,725	573,410,443	8,388	0	0
第21期	942,175,831	541,557,729	5,748	0	0
第22期	883,876,899	544,835,850	6,164	0	0
第23期	832,188,596	605,803,317	7,280	0	0
第24期	851,121,661	527,156,375	6,194	0	0
第25期	676,463,280	466,001,643	6,889	0	0
第26期	649,913,502	523,115,644	8,049	0	0
第27期	634,767,394	638,621,322	10,061	0	0

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	10,470円69銭
----------------	------------

○お知らせ

該当事項はございません。

ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド

償還報告書

第14期（償還日：2024年1月12日）
（計算期間：2023年1月26日～2024年1月12日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・ブラジル株インデックス・マザーファンド」は、「ピクテ・インデックス・ファンド・シリーズ・ブラジル株」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。
主要投資対象	ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株組入比率	純資産額
	円銭	騰落率	騰落率	騰落率		
10期(2020年1月27日)	9,274	7.8	9,583	8.0	98.3	570
11期(2021年1月25日)	6,841	△26.2	7,092	△26.0	99.1	541
12期(2022年1月25日)	6,930	1.3	7,207	1.6	98.9	524
13期(2023年1月25日)	9,068	30.9	9,410	30.6	97.7	520
(償還時) 14期(2024年1月12日)	(償還価額) 11,900.63	31.2	12,825	36.3	—	527

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したもので、指数化して表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株組入比率
	円銭	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2023年1月25日	9,068	—	9,410	—	97.7
1月末	9,043	△0.3	9,383	△0.3	97.9
2月末	8,810	△2.8	9,138	△2.9	98.2
3月末	8,615	△5.0	8,945	△4.9	97.2
4月末	8,734	△3.7	9,072	△3.6	97.7
5月末	9,481	4.6	9,859	4.8	97.0
6月末	11,069	22.1	11,535	22.6	96.7
7月末	11,221	23.7	11,690	24.2	98.2
8月末	11,068	22.1	11,528	22.5	97.3
9月末	10,902	20.2	11,356	20.7	97.2
10月末	10,571	16.6	11,011	17.0	97.6
11月末	11,923	31.5	12,385	31.6	0.0
12月末	11,920	31.5	12,851	36.6	—
(償還時) 2024年1月12日	(償還価額) 11,900.63	31.2	12,825	36.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) ベンチマークは、MSCIブラジル株価指数(税引後配当込み)を委託者が円換算したもので、指数化して表示しています。

MSCIブラジル株価指数は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、31.2%の上昇となりました。



※ベンチマークは期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

上昇↑・円に対してブラジルリアルが上昇したこと

上昇↑・組入れている株式の価格（配当込み）が上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期のベンチマークの騰落率は36.3%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は5.1%でした。償還に向けて組入れ株式を全て売却し現金としたことが主な差異要因となりました。

投資環境

- ・ブラジル株式市場は、期首の2023年1月末以降は、高止まりするブラジル政策金利が経済を悪化させる可能性への警戒感や、米シリコンバレー・バンクの経営破綻を発端とした金融不安の波及懸念などから、3月中旬にかけて下落しました。3月下旬からは、世界的な金融機関の信用不安への過度な警戒感が後退し、原油などの商品市況が回復したことや、ブラジル国内の消費者物価上昇率が市場予想を下回る水準まで鈍化し、早期の利下げ観測が高まったことなどが追い風となり、4月中旬にかけて上昇しました。4月下旬から5月にかけては、商品市況の推移や米債務上限引き上げ交渉の進捗を睨みつつ、レンジ内で推移する展開となりました。6月から7月下旬にかけては、米債務上限引き上げの合意や米大手格付け会社によるブラジルソブリン格付けの見直し引き上げ、ブラジル国内のインフレ率の鈍化などが好感され、ブラジル株式市場は上昇しました。、ブラジル株式市場は上昇しました。(当期後半については3ページをご覧ください。)
- ・為替市場は、期首から2023年3月上旬にかけては、日本政府が日銀の次期総裁に起用する方針を固めた植田氏が、当面の間の金融緩和継続の必要性を示したことから、相対的に金利水準の高いブラジルレアルへの選好が強まり、ブラジルレアルは対円で上昇しました。3月中旬から下旬にかけては、世界的な金融機関の信用不安への警戒感から投資家のリスク回避の姿勢が強まり、対円でブラジルレアルは下落しました。4月以降は、金融不安への過度な警戒感は後退し、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ停止観測や原油などの商品市況の回復、米大手格付け会社によるブラジルの格付けの見直し引き上げなどを背景に、7月下旬にかけてブラジルレアルは対円で上昇しました。(当期後半については3ページをご覧ください。)

組入状況

ブラジル企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、MSCIブラジル株価指数（税引後配当込み、円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。なお、償還日現在においては有価証券の組入れはございません。

基準価額等の推移

設定以来の基準価額は、19.0%の上昇となりました。



◇主な変動要因

上昇↑・組入れている株式の価格（配当込み）が上昇したこと
 下落↓・円に対してブラジルレアルが下落したこと

◇ベンチマークとの比較

基準価額は19.0%の上昇となり、ベンチマークの上昇率28.2%を下回りました。

【主な差異要因】

設定来のベンチマークの騰落率は28.2%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は9.2%でした。償還に向けて組入れ株式を全て売却し現金としたことが主な差異要因となりました。

投資環境

5ページをご覧ください。

組入状況

6ページをご覧ください。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月26日～2024年1月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.031 (0.031)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.039 (0.039)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	74 (74) (0)	0.722 (0.719) (0.004)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合 計	81	0.792	
期中の平均基準価額は、10,279円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月26日～2024年1月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ブラジル	百株 847 (34)	千ブラジルリアル 1,783 (21)	百株 9,414 (11)	千ブラジルリアル 22,670 (4)

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2023年1月26日～2024年1月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	728,476千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	494,928千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.47

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月26日～2024年1月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○特定資産の価格等の調査

(2023年1月26日～2024年1月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月12日現在)

2024年1月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(ブラジル)		百株
BRF SA	68	
VALE SA	425	
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B	30	
CENTRAIS ELETRICAS BRASILIER	134	
BANCO DO BRASIL S.A.	99	
ITAUSA SA (PFD)	561	
GERDAU SA-PREF	129	
PETROBRAS-PETROLEO BRAS	413	
PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PR	533	
CCR SA	139	
WEG SA	188	
BANCO BRADESCO SA-PREF	600	
BANCO BRADESCO S.A.	174	
CIA SIDERURGICA NACIONAL SA	77	
SUZANO S.A.	82	
CPFL ENERGIA SA	25	
ITAU UNIBANCO HOLDING SA	539	
BRASKEM SA-PREF A	20	
LOCALIZA RENT A CAR	83	
LOJAS RENNER S.A.	107	
ULTRAPAR PARTICIPACOES SA	81	
COSAN SA	135	
TOTVS SA	59	
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	114	
JBS SA	85	
CIA ENERGETICA MINAS GER-PRF	160	
CIA SANEAMENTO BASICO DE SP	37	

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(ブラジル)		百株
HYPERA SA	44	
MAGAZINE LUIZA SA	336	
BANCO SANTANDER (BRASIL) SA-UNIT	41	
ENERGISA SA-UNITS	22	
TELEFONICA BRASIL S.A.	56	
RAIA DROGASIL SA	117	
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	78	
ENGIE BRASIL SA	22	
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE	517	
ATACADAO SA	74	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	681	
AMBEV SA	522	
KLABIN SA - UNIT	86	
NATURA &CO HOLDING SA	99	
LOCALIZA RENT A CAR SA	0.36	
SENDAS DISTRIBUIDORA SA	102	
TIM SA	91	
REDE D'OR SAO LUIZ SA	63	
VIBRA ENERGIA SA	131	
RUMO SA	148	
PRIO S.A.	77	
BANCO BTG PACTUAL SA-UNIT	129	
合計	株数	8,544
	銘柄数	49

(注) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

○投資信託財産の構成

(2024年1月12日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 527,150	% 100.0
投資信託財産総額	527,150	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年1月12日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	527,150,548
コール・ローン等	527,150,548
(B) 負債	15,269
未払利息	4,332
その他未払費用	10,937
(C) 純資産総額(A-B)	527,135,279
元本	442,947,242
償還差益金	84,188,037
(D) 受益権総口数	442,947,242口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,900円63銭

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額 574,259,535円

 期中追加設定元本額 61,472,641円

 期中一部解約元本額 192,784,934円

(注) 1口当たり純資産額 1.190063円

(注) 期末における元本の内訳

 ビクテ・インデックス・ファンド・シリーズブラジル株 442,947,242円

○損益の状況 (2023年1月26日～2024年1月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37,448,265
受取配当金	37,508,389
支払利息	△ 60,124
(B) 有価証券売買損益	123,262,556
売買益	171,884,822
売買損	△ 48,622,266
(C) 保管費用等	△ 4,054,015
(D) 当期損益金(A+B+C)	156,656,806
(E) 前期繰越損益金	△ 53,531,062
(F) 追加信託差損益金	△ 2,272,641
(G) 解約差損益金	△ 16,665,066
償還差益金(D+E+F+G)	84,188,037

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。